

せいらんそう

第44号
2019.6



事業所トピックス たま保育園より (P4掲載)

Contents

- P 2 社会福祉法人芳香会 “平成30年度の振り返り”
- P 3 実務者研修二年度目の開講と受講者状況について
- P 4 施設・事業所トピックス
- P 5-7 芳香会職員紹介
- P 8 芳香会活動報告
2019年4月1日付職員状況報告
芳香会スケジュール
編集後記



事業所トピックス 青嵐荘養護老人ホームより (P4掲載)

2016年4月14日に発生した熊本地震において被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、当法人も引き続き復興に向けた支援活動に取り組んでまいります。

社会福祉法人芳香会 “平成30年度の振り返り”

「平成」が終わり「令和」という新しい時代を迎えました。会報誌「せいらんそう」も今号が改元後、はじめての発行になります。

芳香会では平成30年度においても、新たな取り組みや準備をした事業のほか、今まで継続して行ってきた事業に変化や工夫を取り入れ、活動して参りました。

法人としては特に「管理者・役付職員の育成」、「外国人就労者の職場づくり」、「勤怠管理」に力を入れ、更なる体制強化と働きやすい職場づくりを目標とする1年となりました。

今号では、平成30年度における法人全体での行事を振り返り、皆さんにご紹介いたします。

紙面を通して、皆さまにより良い情報をお伝えできますよう、法人職員一同努力して参りますので、今後とも会報誌「せいらんそう」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

▼平成30年度

- 【5月】 ○平成30年度第1回(通算第15回) 移動献血事業の実施。(5/24・5/28)
○平成30年6月1日付辞令交付式にて計14名に辞令を交付。(5/29)
- 【7月】 ○「腰痛予防講演会」をネーブルパーク平成館(古河市駒羽根620)にて開催。(7/22)
○「高校生インターンシップ in Summer 2018」の開催。(7/23-8/24)
○フィリピンEPA現地合同説明会(フィリピンマニラ)に参加。(7/25)
- 【8月】 ○インドネシアEPA現地合同説明会(インドネシアジャカルタ)に参加。(8/23)
- 【9月】 ○「第1回 障害者福祉セミナー 高齢・認知症知的障害者の支援のあり方を学ぶ」をつくば市立ノバホール 小ホール(つくば市吾妻1-10-1)にて社会福祉法人茨城県社会福祉事業団 茨城県立あすなろの郷様と共催。(9/22)
- 【10月】 ○「上大野小学校・上大野親愛クラブ・古河中央RCとの合同植栽活動」実施。
[平成30年秋季 通算19回目](10/3・10/10) ※写真左下
- 【11月】 ○平成30年度第2回(通算第16回) 移動献血事業の実施。(11/14・11/26)
○インドネシア技能実習生面接会(インドネシアバトン)に参加。(11/17)
- 【12月】 ○ベトナムEPA現地合同説明会(ベトナムハoi)に参加。(12/6)
○茨城県地域生活定着支援センター分室設置 準備の開始。(12/17)
○「第15回 実務研究発表会」を結城市民情報センター 3階多目的ホール(結城市国府町1-1-1)にて開催。(12/26)
○平成30年度EPA介護福祉士候補生辞令交付式・welcome partyの開催。(12/28) ※写真中央下
EPA介護福祉士候補生4名(インドネシアから2名、フィリピンから2名)に辞令を交付。
- 【1月】 ○「平成30年度 通算第6回 古河第二高等学校とのEPA共同授業」実施。(1/18)
- 【3月】 ○第2回福祉サービス苦情解決第三者委員会にて第三者委員3名において、任期満了に伴い再任の為、委嘱状を交付。(3/27)
○平成31年度入社式並びに平成31年4月1日付辞令交付式(3/28) ※写真右下
計33名に辞令を交付。新任職員としてインドネシア留学生2名を介護職員として迎えた。
○「春休みワークセミナー2019 ふくしの仕事～見る・触れる・知る～」開催。(3/29)



実務者研修二年度目の 開講と受講者状況について

平成二十八年度より、介護福祉士国家試験の受験資格として「実務経験三年」に加え、「実務者研修の終了」が義務づけられました。

芳香会では昨年度より「介護福祉士実務者研修（芳香会コース）」を専門学校アリス学園からの委託を受け開校しました。

受講方法は各自が所定の通信講座を受講し、スクーリングの七日間を法人内の事業所で受講するというスタイルです。

昨年度の芳香会の受講者は八名で、その内二名はEPA介護福祉士候補生でした。受講者全員一日も欠席することなく全過程を修了することが出来ました。今までは交通費や移動時間を使い、遠方の受講地まで赴くため大きな負担となっておりました。法人内開校のメリットは近隣で受講できる利便性の高さにあると思います。また、講師も法人内職員六名が務めることで、分からないこと、不安なこと等気軽に相談できることも受講者の心理的な負担軽減につながっていると思います。加えて法人の人材育成の一環として資格取得を奨励しており、本研修の受講料も本人負担なしで受講することができます。受講者に経済的な負担が掛からないことも大きなメリットと思われれます。

昨年度受講者八名が全員介護福祉士国家試験に臨み六名が合格しました。今年度の受講者は六名。過日オリエンテーションを終え既に学習を開始しており、全員が合格できるよう各事業所、担当者でバックアップをしていきます。

今後は近隣の法人にお声掛けをさせていただきながら、受講者を拡充し、本研修をより充実させていきたいと考えております。（落合）

▼ 講師（介護福祉士）より

「一年度目の実務者研修を終えて」

芳香会初の実務者研修の担当をさせていただきました。平成二十九年より、実際に実務者研修を実施している千葉県福祉援護会への視察やKJK（旧介護福祉実務者研修センター）の勉強会への参加、アリス学園との打合せ等、約一年をかけて準備を行いました。指導案をもとに、講師担当者と具体的な内容や授業の進め方などを何度も話し合いを行いました。講義は施設内研修等で担当していたこともあり比較的スムーズに実施できたと思いますが、グループワークでのファシリテートが難しく今後の研修の課題となりました。

講師担当者それぞれが、各施設での業務があり忙しい中での準備・講義ではありましたが、介護過程Ⅲ・医療的ケアの全日程七日間を無事終了することができました。

この実務者研修を芳香会のアピールポイントとし、介護職員のスキルアップに貢献できるよう、今後も受講生がわかりやすい研修の実施に尽力していきたいと思っております。（畑山）



▼ 講師（看護師）より

「看護と介護の協働へ」

九月二十六日と十月三日の二日間にわたり医療的ケア演習が実施されました。

実務者研修では、講義に加えて医療的ケア演習が義務化され、①口腔内の喀痰吸引、②鼻腔内の喀痰吸引、③気管カニューレ内部の喀痰吸引、④胃瘻（腸瘻）による経管栄養、⑤経鼻経管栄養、①～⑤は各五回以上合格すること、⑥救急蘇生法を一回以上合格することが加わりました。

私たちは、この研修を実施するにあたり医療的ケア教員資格を取得し、学習会を重ねてきました。中でも、専門学校アリス学園の関連施設であるローゼンヴィラ藤原の研修では、実際の演習場面を見学しアドバイスも頂き、知識・技術のサポートや評価への不安が和らぎ自信に繋がりました。

講義では、解剖生理から技術面をテキスト中心に行いました。また、演習では、シミュレーターを使用し、医療物品は一つ一つカタカナで表記し戸惑うことなく手技に集中できるよう配慮しました。最初は、緊張のあまり手が震える場面や順番を間違える場面等のエピソードもありましたが、最終的に全員が合格でき「頑張りましたね。」と心からエールを送りました。

研修を終えて感じたことは、医療や介護の現場では、医療福祉に携わる専門職が多種多様であり、お互いの専門知識・技術を共有し連携と協働が必要だと再認識しました。今後は、次の世代の講師育成にも力を注いでいきたいと考えております。（瀬下）

※関連関係事業所様敬称略

「笑顔と喜びのために」

青嵐荘養護老人ホーム

「これはすごい！おいしそう！」と嬉しそうに声をあげた入所者のM様。市内で見ごろを迎えた、枝垂れ桜の花見を楽しんだ後の飲食店での第一声です。

平成二十八年後半より運営方針を転換し、自立された入所者が増えたことで施設内の雰囲気や活動の様子も以前よりも活発になってきました。

施設行事も少しずつ変化し、バスでの日帰り旅行やミニ外出会などを行う機会が増えてきました。今回も昼食で立ち寄った飲食店で豪華なボリュームのある食事が並びと目を輝かせて感嘆の声をあげられていました。職員も同じテーブルについて食事をするという普段とは違った形でのコミュニケーションをとることができているのもこの行事の醍醐味です。

また施設の中で生活が中心となる入所者の方々にとって地域へ外出をするということを楽しみにされているということは見せていただけた笑顔からも明白です。

私たちは地域で生活している中で買い物や外食を当たり前のようになっています。入所者の方々も施設での生活が中心となりますが、私たちと同じように買い物や外食などを楽しんで生活を送りたいという気持ちを持たれています。外出会後には「また行きたいから元気でいなくちゃね」と次回を楽しみにされている声も伺うことができました。今回の笑顔と喜びの声を次の外出会につなげていきたいと思えます。(石川)



「みらいの虫博士」

たま保育園

今たま保育園の子どもたちは、植木鉢を動かして、何かを一生懸命に探しています。耳をすますと「いないなあ」「ここにいないんじゃない？」などと言いつつ、黙々と何かを探しています。中には「先生、これどかして」とお願いする子どももいます。しばらくすると「いたっ！」と一人が言う。「どれ、どれ？」と子どもたちが集まってきました。何を探していたか？それは、ダンゴムシでした。

発見したダンゴムシをきちんと図鑑で確認します。年上の子が中心になって図鑑を広げるので、下の子どもと一緒に見せてもらいます。こうして子どもたち同士で、学び合いの機会がうまれます。大きな植木鉢を数人で力を合わせて動かす等、協力することを体験できたり、植木鉢を動かしたことで達成感を共有することもできます。時には、植木鉢を割ってしまった、落ち込む姿もありますが、失敗を経験することで学べる事もあるし、植木鉢は買替が出来ます。今日この日の子どもたちの発見、体験はプライムスレス。職員で相談し合い、植木鉢を寄せて虫を見つける様子をしばらく見守っていくことにしています。

虫だけでなく、様々な事に興味関心を示してくれる子どもたち。子どもたちの遊びが発展していくような関わり方をしていきたいと思えます。(中山)



「より豊かな生活の実現を目指して」

みのりホーム

みのりホームでは、保護者の方が年齢を重ねられてきており、全体として年々外泊日数が減少傾向にあります。今後もこの傾向は続いていくと推察されるため、現在のみのりホームでは外泊に代わるGH内での楽しみ・余暇の充実には力を入れており、入居者の情緒の安定を図っています。

四月、栃木県小山市のドライブインがテレビで取り上げられ、一押しメニューとしてタンメンと焼肉定食が紹介されました。この二つのメニューは入居者の嗜好に合致するため、ふきのとう・輝希のいえ・落のとう舎の合同外出として企画しました。

タンメンが運ばれてくると、皆さんまず山盛りの野菜に驚かれています。そして食べ始めると「おいしい、おいしい」と箸が止まりません。焼肉定食の方も食べ応え十分で味も抜群でした。お店を出る時、皆さんとてもにこやかにされており、満足されたのではないのでしょうか。

今後も外出や食事だけでなく、入居者一人一人のGHでの生活がより充実したものとなるための企画や支援を一層進めていきたいと考えております。また外泊が減ってもご本人がスムーズにその状況に移行できるよう工夫し、より豊かな生活の実現を目指し、今後も取り組んで参りたいと思えます。(池田)





芳香会

職員紹介

芳香会では今年度十一名の新任職員を迎えました。今号では新任職員に加え、昨年度入職し先輩として新しい年度をスタートした職員から意気込みや目標を伺いました。
また、芳香会では外国人就労者として現在十二名の職員が就労しております。年度後期には新たに六名の職員が加わる予定です。今回は、法人内施設で活躍する三名の職員を紹介いたします。

高

「社会人になって」

阿部介護員

(2019年度入職)

4月から社会人になり、新しい環境でのスタートを切りました。まっさらな状態からの始まりだったのでとても不安でしたが、職員の方々から、優しい声掛けなどをたくさんいただき、少し安心できました。それと同時にこれからこの職場で働くという覚悟が生まれました。

1年目の意気込みですが、覚えることが多いので、まずは仕事内容を一つ一つ理解し、介護の技術をきちんと身に付けられるよう、一步一步前進していきたいと思えます。

まだまだ未熟者ですので、ご迷惑をおかけすると思えますが、今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。



高

高年齢者施設

障

「5年後の自分のために」

菊地相談支援員

(2019年度入職)

私は、現在の相談支援員という仕事の経験を未来の自分の糧とする為に、現在真剣に仕事に取り組んでいます。特に複数の仕事を処理できる能力、利用者様やご家族様のニーズを把握する能力、地域住民との関係の作り方を重点的にこの職場で磨いていきたいと考えています。またこれらのスキルを磨き、5年後を目途にケアマネージャーの資格取得を目指したいと考えています。

まだまだ、分からない事ばかりで先輩の皆様方に迷惑をかけてばかりですが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。



障

障害者施設

保

保育園

保

「理想の保育士になるためには…」

佐々木保育士

(2019年度入職)

入職して約1ヶ月、先輩保育士と共に行動をし、学ぶことが多く毎日新しい知識や業務を習得できるのでワクワクしています。子どもたちも慣れてきてくれて日々の成長がとても楽しみです。私が理想とする保育士は、子どもの個性を十分に活かせる保育をすることです。その為には、職員全員が子どもの様子を把握し、その子に合った関わり方をすることが大切だと思っています。子どもの「やってみたい」という気持ちを尊重し、子どもや保護者の顔・名前を覚え、基本的な業務から丁寧に仕事をしたいと思っています。



障

「1年目をスタートして…」

高津戸看護学生

(2019年度入職)

看護学生として1年目をスタートし、夢だった看護師に一步近づけた期待と学業への不安で一杯です。

私は、利用者の方の急な体調の変化に対して、冷静で的確な判断を行い、臨機応変な対応のとれるような看護師になりたいと思っています。そのような看護師になるために、日ごろから周りを見ながら行動できるよう心がけていきたいです。

毎日笑顔で元気よく挨拶を行い、利用者の方やその家族の方に信頼していただけるよう精一杯頑張っていきたいです。



「後輩から先輩としての立場へ」 勝介護員 (2018年度入職)

入職して2年がたち、過去と現在で変わったことが二つあります。一つ目はコミュニケーションです。1年目は業務に囚われてしまい細やかな声掛けが出来ず、周りの先輩方を困惑させてしまいました。先輩の助言を得て、介護職としての使命を見直し仕事に努めています。二つ目は後輩への対応です。フォローされる立場からする立場になりました。自分の知識や技術を再確認し、正しく教えられる先輩にならなければいけません。先輩方がそうであったように、質問されても嫌な顔をせずに丁寧に教えることが大切です。

この社会人経験で得た二つの変化を、これからも心掛けて仕事を続けたいと思います。



「2年目の決意」 下川保育士 (2018年度入職)

入職してから、あっという間に1年が経ちました。当初は期待と共に緊張や不安もありましたが、園長先生や先輩職員が温かく見守り指導して下さいのおかげで毎日様々なことを学び、反省や改善を行い業務に励むことが出来たと感じます。また、保育者として子どもや保護者に携わる喜びと同時に専門職の難しさを実感しました。自分には何が出来るのかを考えて子どもや保護者との関わりを大切に、慎重に行動していきたいと思えます。さらに、自分を支えて下さる周りの方々へ感謝の気持ちを忘れず、日々成長することを目標に笑顔で頑張ります。



「新たな環境でのスタート」 サトリヤ生活支援員 (2019年度入職)

3年間金沢の専門学校アリス学園で勉強し、4月から芳香会で生活支援員として就職させていただきました。新しい環境に入り、上手く慣れるかどうか少し緊張する事もありますが、家族と自分の将来のために不安な気持ちを消して、利用者笑顔で接したいと思えます。私は専門学校で学んだ事を活かして、利用者信頼関係を築く事で利用者の暮らしを支えようと思っております。パートナーの立場で利用者に関わり、利用者の思いを理解して、尊重しながら利用者が安心して生活を過ごせる事を実現できる介護福祉士になりたいです。母国に帰ったら、日本の様な良い福祉サービスが行える施設を作る夢を持っています。日本での経験を通してインドネシアでも良い施設を作り、多くの人を助けたいと思っております。



▼ 配属施設より

4月1日からサトリヤ生活支援員が入職しました。アリス学園在籍中の夏休み、冬休みにアルバイトを行った事もあり、利用者の顔、名前は驚くほどのスピードで覚える事が出来ています。コミュニケーションには一切問題なく接遇は非常に丁寧です。

施設で気を付けている点としては16時からイスラム教のお祈りがある為、時間を確保する事です。15分程のお祈りである為、業務に支障はありません。仕事を学ぶ姿勢は先輩職員としても見習うべきであると感じています。今後お互いにより良い刺激を保ちながら共に成長していきたいと思えます。(宇都木)

「ご利用者に寄り添うプロの介護員を目指して」 ニュン介護員（2015年度受入 EPA職員）

日本に来てからあっという間に4年が経ちました。4年間、大変な事がありました。それ以上に利用者さんや同僚と楽しい時を過ごさせて頂く事が出来ました。そして、仕事をする時、利用者さんから「ありがとうね」と言われることが、とても嬉しかったです。自分は人の役に立っているんだなと実感できる仕事だと思います。介護福祉士国家試験に合格しましたが、自分一人ですべてではありません。多くの方々の助けがあったからこそ、ここまで来られたのだと感謝しております。介護員は人と直接関わり合う仕事なのでコミュニケーション力は不可欠なものです。しかし、私はそのコミュニケーションに苦手意識を持っていて、人見知りをしてしまったり、日本語能力が足りないことで、会話が続かなかったりなかなか上手いかない事があります。その為、仕事だけでなく頑張って日本語を勉強するしかないと考えています。介護福祉士の資格を取得しましたが、勉強は終わりではありません。仕事が上手く出来るように日本語や介護技術などをまだまだ勉強していきます。利用者の目線に立ったケアを心がけ、一緒に笑顔になれるプロの介護員を目指したいです。そして、将来、ベトナムの高齢化も進むかもしれないので自分で持っている介護技術や経験した事はベトナムに貢献したいと思います。



2019年度 歓迎会
介護福祉士合格祝賀会にて

▼ 配属施設より

2015年にベトナムから来ていただいたニュンさん。施設で4年間一生懸命働いています。2019年1月の介護福祉士国家試験を受験し見事合格。更にEPA制度では合格後施設へ在籍する決まりはありませんが、継続して働くことを選んでくれました。本当にうれしいことでもあるし、本人の能力の高さに日本人職員も学ぶことが沢山あります。立派な先輩職員として知識、技術を学び継承していく仲間として心強い存在です。（富張）

「ご利用者の笑顔を力に」 ジェフェリー生活支援員（2016年度受入 EPA職員）



芳香会に、平成28年12月から働いています。初めて来たときは、幸せと同時に不安を感じました。色々なご利用者の支援をすることや介護の仕事が上手いことができるか不安でした。日本語が上手く話せなかった時や仕事が大変でホームシックになり、辞めたいと思った時もありました。

でも、介護の仕事は人のお世話をすること、コミュニケーションを多くとることなので、楽しいこともたくさんあります。また、ご利用者によって、アプローチの方法が違うので、難しいこともたくさんありますが、とてもやりがいのある仕事です。今では、ご利用者の笑顔や「どうもね」「ありがとう」の言葉を聞くと、もっと頑張りたいと思います。ご利用者の暖かい気持ちと笑顔は、私に力を与えてくれとても幸せです。

これからも、ご利用者の為に努力を続けていきたいと思っています。

▼ 配属施設より

ジェフさんは入職した当初から、仕事や勉強への探求心が強い方でした。職場に少しずつ慣れ、業務を習得し今では変則勤務をこなしながら、自身が立てた勉強スケジュールと日々の業務とを両立し頑張っている様子が伺えます。堅実で実直な業務姿勢、常に笑顔を絶やさないことによって、ご利用者や職員から大きな信頼を得ており、今では欠かせない存在となりました。これからもジェフさんをサポートしていきたいと思っています。（和田）

芳香会活動報告

エコキャップアート（貼り絵） 授与について

芳香会では、ペットボトルキャップの回収を開始して十年を迎えました。これまで多くの方々からご協力をいただき、活動を続けることができております。

十年という節目の年に、何か記念になることはできないかと委員の中で検討・話し合いを行い、これまで協力いただいた関係機関への配布物を変更することが決定されました。

多くのご利用者が関わられる作品づくりが望ましいのではないかとのお意見もあり、今回のキャップアート作品が挙げられました。

作品は①下絵を描く、②キャップを洗う、③数を揃える、④色を決定する、⑤貼りつけをするといった工程を身体・知的障害者、施設入所者の皆さんが協力し完成となりました。

そして今回は、結城市・古河市で長年ご協力をいただいている保育所（八か所）に、ご利用者が作成したアート作品を贈呈させていただきます。



近年、ご利用者が社会活動に参画する機会が増えてきたことにより、日中活動に取り組む姿勢も変化しております。今回は特別に古河市の保育連絡協議会開催日に、作成に携わったご利用者が贈呈式に参加する機会をいただき、貴重な経験もさせていただきました。これまでの活動とは少し異なった内容ですが、芳香会のリサイクル活動の取り組みと、障害を有する方への理解を深める啓発の機会にもなりました。

芳香会では引き続き地域皆さまをはじめ、より多くの方々とお繋がることのできるよう活動の輪を広げ、エコ・リサイクル活動継続に努めて参ります。（石田）

芳香会スケジュール

- 7月4日 第1回 長期在職者研修会
於：栃木県足利市方面
- 7月9日 第1回個人情報保護対策推進研修会
- 7月18日 令和元年度社会福祉法人・施設一般検査
- 7月20日 EPA2020年度受入
フィリピン現地説明会（看護）
- 7月22日 EPA2020年度受入
フィリピン現地説明会（介護）
- 8月20日 EPA2020年度受入
インドネシア現地説明会（介護）
- 8月30日 第1回 非常勤職員研修会
- 9月6日 第2回 長期在職者研修会
於：茨城県つくば市方面
- 9月中旬 第1回事務員学習会
中堅職員キャリアアップ研修会

社会福祉法人芳香会 2019年4月1日付職員状況報告

2019年4月1日付職員状況につきまして、下記のとおりご報告いたします。

▼勤務形態別

勤務形態	集計
常勤職員	290名
非常勤職員	192名
総計	482名

▼男女別

性別	集計
女性	323名
男性	159名
総計	482名



編集後記

先日、雇用障害者・グループホーム入居者十二名の研修旅行に参加しました。楽しくもありましたが、感慨深い思い出もできました。東日本大震災の折、ひまわりの種を届ける事で出会った郡山市にあるにんじん舎にも訪問ができました。今後も雇用障害者の皆さんが元気に就労継続していただける事を願っています。

（光）

先日の休みに家族で一泊二日の旅行に出掛けました。茨城県内の日立海浜公園や袋田の滝、笠間焼などを見て回り、海鮮系の食事やいなり寿司を食べました。魅力度ランキング六年連続最下位の茨城県ですが、行ってみると魅力的な観光地や食べ物がたくさんあります。皆様もたまには、自分の住んでいる地域や職場近く観光スポットなどに、出掛けてみては如何でしょうか。（修）

令和二年四月入社採用活動をスタートします。施設見学・採用試験日程を芳香会ホームページ（下記アドレスご参照）に更新いたしました。皆さまのお申し込みを心よりお待ちしております。（純）



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会
〒306-0201 茨城県古河市上大野698
TEL 0280-97-1027 (代) FAX 0280-97-1112
ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。